

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	悪性リンパ腫
治療法	ポテリジオ単独療法

抗癌剤・商品名	1 ポテリジオ
規格	20mg/5mL
一般名	モガムリズマブ
一日投与量(規定)	1mg/kg
患者情報から算出した一日投与量	50 mg
実際の投与量	50 mg
	1 mg/kg
投与日	day1
1クール期間	7日間
予定クール数	(最大8クール)
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	再発又は難治性のCCR4陽性の次の疾患 成人T細胞白血病リンパ腫(ATLL)、末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)、皮膚T細胞性リンパ腫(CTCL)
推奨経口剤	〇このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	投与前の好中球数:500/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数:25,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE Ver4.0におけるgrade4の血液毒性に準拠:国内第Ⅱ相試験投与延期基準)
副作用	<b>重大</b> 1.Infusion reaction(58.8%) 2.重度の皮膚障害 3.感染症(13.8%) 4.B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎(頻度不明)、肝炎(1.3%) 5.腫瘍崩壊症候群(1.3%) 6.重度の血液毒性 7.肝機能障害 8.間質性肺疾患 9.高血糖(2.5%) <b>その他</b> (10%以上) 血圧上昇、頻脈、低酸素血症、悪心、掻痒症、鼻咽頭炎、電解質異常、低アルブミン血症、低リン酸血症、発熱、悪寒 (5~10%未満) 頭痛、血圧低下、潮紅、左室機能不全、ほてり、咳嗽、便秘、嘔吐、クレアチニン上昇、蛋白尿、高尿酸血症、倦怠感、食欲減退、疲労、体重増加、浮腫 (5%未満) 感覚鈍麻、不眠症、好酸球百分率増加、赤血球減少、ヘマトクリット減少、心拍数増加、心室性期外収縮、心電図QT延長、洞性頻脈、胸水、口腔咽頭痛、喘鳴、鼻閉、口内炎、下痢、腹痛、尿中ウロビリノーゲン増加、尿中血陽性、血中尿素増加、多汗症、湿疹、関節痛、頸部痛、総蛋白減少、尿中ブドウ糖陽性、体重減少、CRP上昇、低体温、サイトカイン放出症候群
備考	

# ポテリジオ単独療法 観察記録

所要時間: 3時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )	
医師	指示医師: ポテリジオ ( mg ) 一般名(モガムリズマブ)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	□延期・中止			投与開始時間	調剤
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		3時間かけて点滴【83mL/h】		
		カロナール(200mg) 2錠	ポテリジオ開始30分前に内服		
		生食20mL +ソルコーテフ100mg 1 V	ポテリジオ開始30分前に静注		
		ポララミン1A	ポテリジオ開始30分前に静注		
	生食250mL +ポテリジオ		2時間かけて点滴【 mL/h】		
	総液量 mL				
本体終了後抜去					